

大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」
令和4年度 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、令和4年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下のとおりです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議が務めました。

◆応募状況

令和4年4月1日から5月31日の募集期間において、13件の応募がありました。

◆選考委員会概要

開催日：令和4年7月11日（月）10時00分～10時45分
三宮研修センター 6階601号室

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 8名
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議企画委員)

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

◆選考結果

選考委員会の厳正な審査の結果、今年度の助成対象として6件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

申請者名 (五十音順)	所属機関名称 及び役職名	助成研究テーマ
1 西谷 豪	東北大学大学院 農学研究科 准教授	大阪湾から発見された寄生生物が麻痺性貝毒原因 プランクトンのブルーム動態へ与える影響の解明(そ の3)
2 齋藤 光代	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授	流域からの栄養塩流出変遷が大阪湾沿岸の栄養塩 収支に及ぼす影響の陸域－海域統合評価
3 富山 毅	広島大学大学院 統合生命科学研究科 准教授	高次捕食者がイカナゴ資源に及ぼすトップダウン効 果の検証
4 廣瀬 孝太郎	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授	堆積物を用いた長期の沿岸環境変化とその駆動要 因の解明
5 中國 正寿	香川大学 農学部 博士研究員	瀬戸内海・姫路沖堆積物中有機物組成の変化
6 李文驕	京都大学大学院 地球環境学 研究員	大阪湾における薬剤耐性菌・遺伝子の存在実態お よび海洋プラスチックを介した水平伝播ポテンシャル の検討